

令和3年度 各年金事務所の取組

令和4年2月
静岡年金事務所
(静岡県代表年金事務所)



目 次

1	浜松東年金事務所の取組・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	①WEBを活用した制度説明会	
	②外国人支援機関に対する取り組み（１）（２）	
	③マイナポータル経由のねんきんネット利用拡大の取り組み	
2	沼津年金事務所の取組・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	特別支援学校に対する取り組み	
3	静岡年金事務所の取組・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	年金委員委嘱拡大に向けた取り組み	

浜松東年金事務所の取組

<WEBを活用した年金制度説明会>

●令和3年度 事務職員研修「年金制度について」

主 催：浜松市社会福祉施設協議会 老人部会

開催経緯：令和2年度において天竜厚生会職員を対象に、年金制度説明会を開催（対面）研修を受講していた浜松白羽の家所長様より、自身が所属している浜松市社会福祉施設協議会老人部会で、同内容についての研修開催の依頼有

開催日：令和3年8月31日（火）

時 間：14:00～15:00（13:30～ 受付 ZOOM入室）

開催場所：社会福祉法人 天竜厚生会 浜松白羽の家

開催方法：浜松白羽の家 よりZOOMにて講義の配信

参加者：浜松市内特養等高齢者施設事務職員 約50名

【研修を終えての反省点】

- ・声の大きさについて、意識的にメリハリがつけられなかった（プレゼン訓練が必要）
- ・主催者側との打ち合わせが不十分であったため、PDF化した資料と解説がズレる部分有
- ・視聴者が見えない分、一方的な講義形式だけでなく、例えばチャット機能を活用した対話型の研修方式も検討するべき
- ・当所から配信する場合、PCのスペックを超えてしまうことが予想される。
（今回は、天竜厚生会本部より高性能PCを借りて対応）

浜松東年金事務所の取組

＜外国人支援機関に対する取り組み(1)＞ ～制度説明会・納付相談会～

- 浜松東年金事務所管轄に在住する外国人未納者対策において、特に外国人比率が高いブラジル国籍者に対する協力要請を行うべく、在浜松ブラジル総領事館に訪問。協力について快諾いただくとともに、浜松国際交流協会（以下：HICE）を紹介いただき、担当者との面談。年金に係る相談者も多く来訪されることもあって、こちらも協力について快諾を得ました。
- そのような中、令和2年度においては、HICE職員向けの年金制度説明会やブラジル国籍者向けの納付相談会を実施しました。
- 令和3年度は、磐田市役所国保年金課とも外国人向け未納者対策へも協力要請を行い、磐田国際交流協会（以下：ICE）及び磐田市役所 地域づくり応援課 との話し合いの場を設けていただくことができ、ここでも、外国人向けの年金制度説明会を行いました。

令和3年度における実績は、以下表のとおり

日時	場所	対象者	来訪者	備考
R3.4.22 13:00～16:00	浜松国際交流協会	国民年金保険料 未納者	10名	開催日前に納付催告書と 合わせて、納付相談会開 催通知同封
R3.9.19 14:00～16:00	磐田国際交流協会	日本語教室参加者に対し、 年金制度説明会	13名 通訳・サポ ート者除く	ZOOMを使ったオンライン形 式での説明会 ※職員はICEにて説明
R3.11.25 13:00～16:00	浜松国際交流協会	国民年金保険料 未納者	9名	開催日前に納付催告書と 合わせて、納付相談会開 催通知同封

※R4.2.19 10:00～12:00 HICEにて、外国人向け年金制度説明会の講師派遣要請有
年金制度・老後に必要な費用・国民年金保険料免除・ねんきん定期便の見方 等の説明を予定

浜松東年金事務所の取組

＜外国人支援機関に対する取り組み(2)＞ ～インターナショナルフェア2022への参画～

- 磐田国際交流協会（以下：ICE）及び磐田市役所 地域づくり応援課 との話し合いを行っていく中で、R4.1.22～R4.1.23の2日間、ららぽーと磐田において「インターナショナルフェア2022」の開催を知りました。
 - 主催は、磐田・袋井・掛川国際交流協会。
企画内容は、「多様性豊かな調和のとれた多文化共生の地域づくり」と題し、磐田国際交流協会の活動紹介だけでなく、外国人向けの情報発信の場となっていることを確認。
年金事務所（浜松東・掛川年金事務所合同）として参加したい意向を伝え、承認されました。
 - R3.10より打ち合わせ会・準備会に参加。
 - ・お客様相談室からは、脱退一時金や社会保障協定に関すること
 - ・国民年金課からは、臨時特例免除をはじめとした免除制度の周知
 - ・共通項目として、ねんきんネットの周知・広報
- を軸とした企画とし、準備を進めてきたところだったが、オミクロン株における新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、参加を断念することとなった。

浜松東年金事務所の取組

＜マイナポータル経由のねんきんネット利用拡大の取り組み＞

【ねんきんネット利用拡大PT】

浜松東年金事務所では、R3.8より「ねんきんネット利用拡大PT」を立ち上げ、以下の取り組みを実施しました。

①ねんきんネットアクセスキーの発行件数増

○厚生年金適用調査課における事業所調査時のねんきんネットの案内徹底

○来訪・相談者へのひと声の徹底

R4.1末時点において、既に上期対比115%の結果を残しています。

②年金事務所で発行したアクセスキーによるID取得増

ID取得増に向けて、アクセスキーの説明と合わせてID取得を促す一声を忘れずに実施するよう、周知徹底を図り対応を行っています。

③マイナポータル経由でねんきんネット利用者の拡大

マイナポータル経由でのねんきんネット利用者拡大については、マイナンバーカードやスマートフォンを持参されたお客様には、年金事務所内でアクセス完了までの説明・案内を実施。1件でも多くの利用者を獲得するため、日々案内・周知を徹底しています。

【共通項目】

○外部機関への取組依頼として、磐田市役所で働く職員向けにねんきんネットの周知を目的としたLANメール送信を依頼。磐田市役所内でのリーフレットの設置も併せて依頼。

○浜松いわた信用金庫においては、各支店に設置された広告用電子ディスプレイに、ねんきんネットの周知用案内ポスターを掲示依頼し、対応を強化。

○アクセスキー発行者（①）に対し、マイナポータル経由でのねんきんネット利用（③）を促す文書を郵送し、更なる利用拡大に努めています。

沼津年金事務所の取組

＜特別支援学校に対する取り組み＞

- 何らかの障害を抱えながらも、「将来の自立と社会参加」を目指し、特別支援学校で学ぶ生徒たちにとって、公的年金制度、とりわけ障害年金について知っていただくことは、生徒一人ひとりの安定した生活基盤構築に結び付くとともに、生徒の保護者や教職員の安心に繋がると考え、年金セミナー開講に向けて積極的にアプローチを行いました。
- 令和3年8月、管内の特別支援学校5校（沼津特別支援学校、沼津特別支援学校愛鷹分校、沼津視覚特別支援学校、沼津聴覚特別支援学校、御殿場特別支援学校）に対し、年金セミナー開講への協力依頼文書を送付。その後架電。
- 訪問による対面型だけでなく、オンラインによる非対面型も可能であること、日本年金機構本部が作成した視覚・聴覚に障害のあるお客様向けDVD（音声、手話通訳、字幕あり）・音声CDの無償配布もできることを案内し開講への協力依頼等を行いました。
- 結果として4校から講師派遣による開講依頼があり、残りの1校についてもDVD・CDの視聴希望がありました。
- 講師は事務所お客様相談室職員、受講対象者は、主に高等部の生徒本人、保護者、教職員。テキストは小冊子「障害年金ガイド」等を使用。また、沼津聴覚支援学校へは沼津市役所と連携し、手話通訳者を派遣依頼しました。なお、当日のセミナーがスムーズに進行できるよう、副所長が事前に訪問し、進路担当者との打合せを行っており、「講師に質問したいこと」があれば事前にお聞きし、当日のセミナーの中で回答しています。

【実施時にいただいたご意見（抜粋）】

- これからの将来のための大切なことが分かって勉強になりました。少し内容が難しいところもありましたが、理解できるように話を聞きました。
- 年金の手続きについて詳しく分かりました。
- なぜ年金があるのか、納めないといけないのかわかりやすく理解できました。
- ◆ アンケート結果は概ね好評で、継続開催の要望もいただきましたが、生徒の中には「少し難しいと感じた」という意見が散見され、また、教職員からは知的障害に沿った資料の作成を望む声もありました。

静岡年金事務所の取組

<年金委員委嘱拡大に向けた取り組み>

- 地域型年金委員の委嘱拡大のために、これまで委嘱のご案内をしてこなかった民生・児童委員へアプローチを試みました。
- 静岡市（葵区・駿河区・清水区）の民生委員事務を所管する静岡市保健福祉長寿局健康福祉部福祉総務課に赴き、民生・児童委員の仕事についてご教授いただくと同時に年金委員制度について説明をいたしました。
- 民生・児童委員はそのはらたきの内容が担当地区の住人の相談を受け、相談の内容に応じ適切な関係機関と結ぶことであるから、年金制度について知りたい民生・児童委員には年金委員制度の需要があることが分かりました。
- そこで、清水年金事務所と「市民生委員児童委員協議会」「区民生委員児童委員協議会（葵区・駿河区・清水区）」に出席させていただき、年金委員制度のメリットについて説明、推薦書を配布いたしました。

